

●●● **学外学習** ●●●

校外実習レポート（代表例）

はじめに

鯉淵学園では食農環境科、食品栄養科の両学科とも学外諸機関等での研修を課している。食農環境科の場合は、研修先は原則として農家で、2年次の夏休み期間中に20日間以上の研修としている。食品栄養科の場合は、研修先は学校および病院等の集団給食施設で、6～9月に5日間としている。

未熟な学生ゆえ、研修受け入れ先の各位にはたいへん迷惑をおかけしているが、ほとんどの学生

にとって学外の現場は初めての体験であり、研修から得るものはきわめて大きいようである。ご指導いただいた受け入れ農家・機関のみなさまには改めて御礼申し上げたい。

以下に、学生の研修レポート（代表例）と、受け入れ研修機関等の一覧を示した。これらの資料から学生たちの学外での学習の様子をご理解いただければ幸いである。

**農業経営体派遣実習発表会資料**

（平成24年8月20日～9月8日）

角田 健斗

（食農環境科 有機農業コース2年）

私が今回の派遣実習でお世話になったのは、鯉淵学園のOBである檜木康直さんが経営する檜木農園です。檜木農園は、千葉県山武市の内陸側にあります。まず、私が派遣先に檜木農園を選んだ理由ですが、実家が同じ千葉県山武市にあるので、将来そこで就農予定の私には、土地にあった作物や栽培方法を知るとてもよいチャンスだと思い選びました。さらに檜木さんが鯉淵学園のOBということもあり、昔の鯉淵学園がどうだったのか、鯉淵学園はどう変わったのかなどを知ることができると思ったからです。

それではまず檜木農園と私の実家のある千葉県山武市について紹介します。千葉県山武市は、8kmにわたる九十九里海岸と、その背地として、広大な沖積平野が広がっており、内陸部には標高40～50mの丘陵地帯が展開しています。（自分の実家や檜木農園は丘陵地帯にある）土壌は、広い範囲で黒ボク土から形成されていますが、海沿いになると海成砂質土になるので、農業は内陸部で盛んに行われています。比較的関東の中では涼しい気象であり、秋～冬の栽培がしやすい環境です。山武市では農業

が主流の産業ですが、そのほかに林業も活発です。林業においては山武杉が有名です。作付作物はサトイモやニンジン、長ネギが主流なので、山武市の農業は主に冬場が稼ぎ時です。

続いて派遣先である檜木農園の紹介をします。まず檜木農園の特徴ですが、自宅の周りに所有農地が集中しているという点です。通常は檜木さん本人、奥さん、母、研修生一人でやっており、夏休みには娘さんも手伝うなど、家族総出で農業に従事しており、さらに作業中にも楽しく会話するなど、非常に好印象が持てる環境でした。上記にも挙げましたが、現在労働力は研修生一人、家族構成は本人・妻・母・娘2人となっています。経営部門は、畑作を4.5haやっています。以前は稲作も行っていたそうだが、現在はやっていないそうです。経営耕地は、自作地3.5ha、山林40aです。作付作物ですが、毎年輪作しているため、年々によって面積が変わりますが、毎年サトイモとニンジンで3ha以上も占めるそうです。

作型も、まだまだ試行錯誤中で特に決まっていはいないそうですが、サトイモの後には必ず春ニンジン

ンというのは確定しているそうです。作業体系は、JAS法に基づく栽培方法をとっていること以外は、特に変わったことはなく、一般的な栽培方法で栽培しています。販売方法は、契約販売、半契約販売、店舗販売で行っており、市場には出荷していないそうです。

経営成果ですが、東関東大震災による原発問題の影響もあり、残念ながら下降気味だそうです。

ここからは20日間の間に行った作業内容を紹介していきます。と言っても約半分が除草作業でした。まだ小さいサトイモや発芽したてのニンジンの畝間を何時間もかけてひたすら除草しました。特にニンジンの所は圃場が広く通路が狭いので、比較的大柄の私にはとても辛かったです。しかしその甲斐もあり、たったの3～4畝間くらいでしたが、綺麗にすることができました。学園の圃場とは面積が違う分、達成感も大きかったです。次に多くやったであろう作業は長ナスの収穫・調整です。今年は風の強い日が多かったのと、害虫被害が多かったのでB品がとても多かったそうです。そのため、規格の厳しい取引先に出せる長ナスの選別に苦労しました。実習期間の後半に入ると、サトイモの収穫・調整作業が始まりました。さすがはサトイモが主流の産地です。トラクタの後ろに付いたサトイモ専用掘り上げ機械での収穫でした。鯉淵学園では毎年あれだけ苦労してスコップで掘り起こしている作業が、一畝たったの2～3分で終わってしまいました。掘り起こした後は、手でパキパキと折って収穫していきます。そしてここからがまたすごいです。サトイモを調整す

る機械に入れるのですが、それである程度の土や根が取り除かれて綺麗なサトイモが出てくるのです。これで収穫から出荷までの時間がかかなり短縮されます。これらの機械たちは覚えておいて損はなさそうです。その他の作業は、レタスの播種、地這いキュウリ定植・収穫、ブロッコリートンネルかけ、生落花生収穫・調整などがありました。どれも学園より大規模でとても大変でしたが、本来の農家の作業を経験できた感じがして、とても良かったです。

最後に今回の派遣実習の感想をまとめます。言わずともわかるかも知れませんが、とても良いものでした。大抵が除草作業というのもあり、腰が痛くなったり気疲れしたりもしましたが、作業中にも関わらず檜木さんが話しかけてきてくれたりして、決して退屈な作業ではありませんでした。その中でもやはり鯉淵学園の話が、お互いに驚きや楽しみがあり一番楽しかったです。そして山武市で農業をやっていく上でのコツなども教えていただき、勉強面でも満足のいく結果になりました。そんな何から何までお世話になった檜木さんが「農業に正解なんてない。農業は一生、失敗の連続だ。」と言っていました。私の中でこの言葉がすごく印象に残っています。檜木さんは全て独学で農業技術を身につけたと言っていました。どんな参考書を参考にしても、土地や気候の問題もあるのだから、結局は自分自身で一番有効な農法を探していくしかない、という意味だそうです。そんな檜木さんにかっこいいと思うと同時に非常に尊敬できる人だと思いました。私も将来は檜木さんのような農業人になりたいです。

高知県南国市<sup>はたえだ</sup>廿枝 西岡亮二（西岡農園）さん宅での実習レポート

（平成24年9月6日～9月26日）

久万田 武

（食農環境科 アグリビジネスコース 就農専攻2年）

### 1. 実習先選択の理由

実習先は高知県内で受け入れてくれる法人を探し、南国市の「風人ファーム」という有機の法人に押しかけた。代表の方に相談をしたところ、個人農家の方が勉強になるということで、近所の西岡さんを紹介してくれた。

### 2. 実習先地域の自然条件・社会条件と農業の概要

高知県は84%という日本一の森林率を誇り（茨城県31%）、一方で農耕地に適した平坦な土地が少ない。その中で南国市は平坦な高知平野の中にあり、恵まれた土地である。例として、高知の暖かい気候を活かし、3月に田植えをする超早場米の栽培が行われている。他には海岸沿いを中心にして大規模の

施設で促成のナスやキュウリなどの栽培が行われている。西岡農園のある南国市廿枝付近では、水田の他に露地でニラの栽培、観光農園が行われている。

南国市には高知龍馬空港があり、高知の空の玄関口となっている。他にも高知自動車道、JR土讃線など、県都高知市と香川・徳島・本州を結ぶ四国山地越えの重要なルートが通っている。また、高知市中心部と南国市及び安芸市などの県東部を結ぶ土佐電気鉄道御免線や土佐くろしお鉄道阿佐線などがある。かつては、施設園芸の盛んな安芸市などの東部から農産物を国鉄後免駅経由で大都市まで運び、高知の施設園芸の発展を支えてきた。現在では市内を大きな国道がいくつも走り高知自動車道南国ICを中心として各物流会社の集積所などが多く、現在でも高知県の物流の中心地として発展している。高知市が隣にあり広いバイパスでつながっているため、県内でも比較的経済規模が大きい。

西岡農園は高知市浦戸湾に流れ込む国分川沿いにあり、対岸には四国制覇の長宗我部元親の居城、岡豊城跡の残る岡豊山がある。四方を剣山山系をはじめとした山々が連なる。高知県らしい風景の中にある。圃場周辺は水田と集落、鎮守の森が広がり、網目のように張り巡らされた水路には、ドジョウやフナが泳ぎ、農業と生活が共生している。広い国道や低空飛行する航空機、JR土讃線などの音も遠くから聞こえる。中山間地農業と違い生活面でも不自由することはない。

### 3. 実習先農家の概要

西岡農園は有機JAS認証を取得していないが、有機JASに準じた栽培を行っている。多品目の野菜生産で、販売は楽天のショップを通して、東京や大阪などの大都市へ野菜セットとして販売している。発送は南国IC近くにあるヤマトの集荷センターに直接持ち込めるため、収穫の次の日には注文者に届けることができる。そのほかに県内大手スーパー、サンシャインの産直市での販売がある。この場合、買い取りではないもの、近くにあるサンシャイン集配センターに持っていけば、各店舗に次の朝出荷される仕組みになっている。ほかには高知の遠藤青汁の育苗した苗を買い取り、契約栽培という形でケールも栽培している。

圃場は全部で1ヘクタールほどあり、元々水田

だった場所なので、水はけが悪く、川沿いで石が非常に多い。土の色も関東の黒ボク土とはまったく違い、白色に近くて粘り気が強い粘土である。

労働力としては西岡さん一人で主に作業し、収穫作業・調製作業は奥さんも手伝っている。自宅と調製室は地主の家の一角を借りていて、使用する機械は基本的には自前だが、「風人ファーム」から借りて使うことも多い。

栽培作物は、夏野菜のピーマン類・ナス・キュウリ・エダマメ・クウシンサイ・ツルムラサキ・サトイモ・サツマイモなどである。冬野菜はレタスミックスを中心にキャベツ・ブロッコリー・ホウレンソウ・ダイコン・カブ・ジャガイモなどである。

冬野菜を作付けした圃場は収穫が終わるとソルガムを一面に播き、夏期中は何も作らず、8月にハンマーナイフモア（ロータリ）で鋤き込み、分解促進のためのチッソを加えてトラクタで軽く耕耘する。1か月くらいで分解するので、施肥・畝立て後、9月後半から冬野菜を作付けする。夏野菜の圃場も同様に収穫後、エンバク・コムギを播種し、これを緑肥として利用する。これらは全国的に有名な本山町の山下一穂氏の技術である。西岡さんも山下塾長の土佐自然塾を卒業している。周辺の有機農家をはじめ、この地区では緑肥をモアで鋤き込み土づくりをしている農家が多い。

### 4. まとめ

茨城県と比べると土壌も社会環境も農業には不利な高知県ではあるが、緑肥を鋤き込むことで数年前まで水田だった土地も団粒構造が発達し、消費者から本当においしいといわれる有機野菜が作れる畑に生まれ変わる。

西岡さんからは高知県での就農や経営、栽培についての話をさせていただき、たくさんのことを学んだ。今後も相談させて頂き、この実習で学んだことを生かして、これからの高知県での就農・起農に役立てたい。

最後になりましたが、西岡さんご夫妻には未熟な私を丁寧にご指導いただき、感謝と御礼を申し上げます。

有り難うございました。

## 東京都八王子市磯沼ミルクファームでの研修

(平成 24 年 8 月 12 日～9 月 2 日)

青木 翠

(食農環境科 アグリビジネスコース 畜産加工専攻 2 年)

磯沼ミルクファームは東京都八王子市にある都市近郊の観光牧場として、牧場主である磯沼正徳さんが 20 年以上前から始めている。牧場内に世界で一番小さいヨーグルト工房があり、新鮮な生乳を使いヨーグルトなどの乳製品を製造している。従業員は磯沼さんを含め 8 人。牧場は山の斜面を活用した造りで、面積は山 1 つぶんある。総養頭数は約 100 頭で、そのうち搾乳牛は 50 頭ほどいる。品種はジャージー種を中心にホルスタイン種とブラウンスイス種があり、その比率は 6:3:1 位である。



写真 1 放牧場

家畜福祉と循環型農業を目指しており、牛が自由に動けるフリーバーン式にしている。敷料として工場から産業廃棄物であるココアやコーヒーの殻を購入し、毎日 1 t を牛舎に撒いている。このコーヒーの殻は臭いを抑えるだけではなく、堆肥のエネルギー量を通常の 2 倍に高めるため、高温発酵し、その熱が長時間持続することから、殺菌、殺種子効果が高く、通常の堆肥よりも高品質である。ここではその後 6 か月間発酵させた堆肥を商品化し販売しており、かなりの頻度で売れていた。住宅街の真ん中にある牧場のため、排せつ物の臭いの解決方法が問題だが、この方法を用いてから苦情は来なくなったと話していた。むしろコーヒーのいい香りが牧場内を漂っており、作業中でも牛臭いと感じることはほとんどなかった。

このように磯沼ミルクファームでは様々なこだわ



写真 2 完熟コーヒー発酵堆肥「牛之助」

りがあるが、なかでも一番こだわっているのが牛乳、ヨーグルトをはじめとする乳製品である。牛乳は、牧場で飼育しているホルスタイン種のさわやかさ、ジャージー種のまろやかさ、ブラウンスイス種のこくを活かせる絶妙の割合で混ぜ、町田市にある「東京ミルク工房ピュア」で低温殺菌とビン詰めをしてもらい、牛乳本来の味を知っていただくためにおいしさにこだわっている。その成果もあり、3 年連続「東京で一番おいしい牛乳」に選ばれている。ヨーグルトは毎週入れ替わりで一頭のジャージー種の牛乳だけで作っており、容器の裏にはそのジャージー種の名前が書いてある。

また、ホモゲナイズ処理をしないで発酵させており、牛乳の味を生かしている。これら以外にも、町田市の養鶏場「カトウファーム」と連携して開発した「天使のほほえみプリン」や、4 種類の乳酸菌を使用し、ホモゲナイズ処理をしないで発酵させた

「ジャージーのむヨーグルト」、他にも 4 種類のアイスクリームやミルクキャラメルシロップ、チーズケーキやワッフル、若い雄乳用種の肉を



写真 3 牛乳「みるくの黄金律」



写真4 かあさん牛の名前入りヨーグルト

ト食品など、多くの商品を販売している。

この牧場で私は、育成牛の給餌や哺乳, 健康チェックや搾乳室の掃除を毎日行った。ほかにも多くの作業を体験したが、その中でも印象に残ったのはモッツァレラチーズ作りと、獣医さんの手伝いだった。モッツァレラチーズ作りは初めてで、効率よく動くことができなかつた。だが、牛乳がだんだんチーズらしくになっていくのは見るのはとても面白かつた。最後に試食させてもらったが、少し固めではあったもののとてもおいしかつた。獣医さんの手伝いは牛の保定が主だったが、何回か直腸検査をさせていただいた。発情兆候のある牛だけではなく、妊娠鑑定の牛も直検させてもらって、とても勉強になった。さらにスタッフの方から提案され、ブラウンスイスの種付けをさせてもらった。子宮が下向きで難しかつたが、なんとか注入することができた。しかしこの牛はもともと受胎率が悪いらしいので、今回も受胎できなかったかもしれないが、とても貴重な経験をさせてもらった。

この実習の中で私は、ただ乳製品や堆肥を販売するのではなく、高品質なものがほしいという消費者のニーズに答えて、付加価値をつけて販売することで、他の類似商品との差別化を図るとともに、客層を増やすことができることを学んだ。実際にこの牧場にわざわざ足を運んで商品を買いに來るお客さんにはりピーターが多く、しっかりと客の心をつか



写真5 モッツァレラチーズ作り

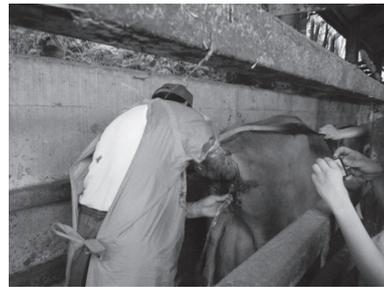


写真6 獣医さんの人工授精の様子

んでいると実感できた。このように消費者の立場になった商品開発やイベントを行うことが、観光牧場のあるべき姿の一つと思われた。今後は、より一層チーズの販売を強化し、さらにガンジー種やエアージャー種などの導入、食育・牧場体験の場となるような牧場作り、牛にとってより良い環境作り、などの目標を達成するために日々前進していくと、磯沼さんは語っていた。私も将来のために、今できることをやっいていこうと思った。



## 農協派遣実習を終えて

(平成 24 年 3 月 8 日～3 月 28 日)

横山 あゆみ

(食農環境科 JA コース 2 年)

私は農協派遣実習を通して J A が行っている活動を詳しく知ることができ、また直に J A の活動を体験することができたので、とても良い経験となった。農協派遣実習は 20 日間あり、当初、少し長いのでは、と考えていた。しかし 20 日間で体験することで、人間関係や自分の役割等、仕事の重要さや楽しさを実感することができた。

私は、J A 福井市の「喜ね舎」という直売店で 19 日間、本店で 1 日間、実習をさせていただいた。「喜ね舎」では、主に農家さん (J A 福井市の組合員) や、他の J A から届いた農産物の調整、袋詰め、品出しを行った。いかにお客さんに、商品 (農産物) を美味しそうで、綺麗と思ってもらえるか、を考えながら作業をおこなった。また、農家さん達が愛情こめて栽培した農産物なので、慎重に作業した。

実習期間中、お彼岸の時期が重なったため、そちらの作業もおこなった。「喜ね舎」とは別の会場で、たくさんの花を販売した。私はレジを担当させていただいた。会場は多くのお客様で溢れていた。お金を取り扱う重要な作業なので、いかに正確に、いかに早く、をこころがけた。

に早く、をこころがけた。

実習最終日の本店での実習では、エクセルで伝票の打ちこみを行った。エクセルは、高校時代、真剣に勉強していたため、それを活かすことができた。この 20 日間、仕事をいかに正確にスムーズに進めるか、を考えていた。

仕事をおこなう上で、一番大切なことは「コミュニケーション能力」だと思う。仕事がいくらできて、人とコミュニケーションがとれないと、簡単な仕事でさえ、完璧にこなすことができない場合がある。授業で習った「報・連・相」(報告・連絡・相談)という言葉は、本当に重要だと思う。わからないまま、曖昧なままにしておくと、仕事を放置することと一緒にになる。

この農協派遣実習では、効率的に仕事をする方法、仕事をする喜び、そして、コミュニケーションがいかに重要か、ということを学んだ。4 月からはこの経験を活かして、J A 福井市で組合員さんに喜んでもらえるような仕事をしたいと思う。

## 医療法人 鷺会 介護老人保健施設「いちご苑」における 給食管理 学校外実習レポート

(平成 24 年 9 月 3 日～9 月 7 日)

黒田 亜美

(食品栄養科 2 年)

### I 目 的

介護老人保健施設の給食の特徴と栄養管理・運営の実際を体験し、栄養士の役割、業務内容について知識および技能を習得する。

### II 実習内容

1. 栄養管理 (体重測定の実施、膝高計測器の測定実演、BMI・膝高による身長測定、基礎代謝エネルギーの算定、推定エネルギーの算定)

2. 厨房内作業 (形態別盛り付け、配膳)、食品の検収、納品書について
3. おやつ作り体験、病院での栄養指導見学

### III 結 果

栄養管理では、毎月体重測定と血液検査を行っていた。1 人 1 冊のファイルで個人管理され、いつでも誰でも利用者さんの身体状況がわかるように工夫されていた。

厨房内には、指示書であるレシピ、その他さまざまな書類が掲示され、全て標準化されていた。食事形態には常食から一口大、粗きざみ、きざみ、ピューレがあり、どんなに刻んであっても、少しでも元の形を残すように盛り付けは注意を払っていた。利用者さんの好き嫌い、食事形態などの注文が配膳車に事細かに記載され、それをもとに1人1人のおぼんに配膳した。お茶碗についても、介護食器を使う人、主食、主菜全てを一つの皿に盛り付ける人など利用者さんの希望に添うよう個人対応がされていた。配膳終了後に、栄養士さんが内容に間違いはないか、忘れないかなど、おぼんを目で見てまわる「検品作業」を行っていた。

おやつ作りでは、外部からのおやつ作りの講師さん、ミュージック専門の方を招き、栄養士さんが中心になっておやつ作りをした。利用者さんは見るだけなので、退屈して眠ってしまう方もいるため、おやつを冷やし固めている間にミュージック専門の方

が、唾液が出やすいように歌を歌ったり、口の運動をしたりして音楽に合わせて歌っていた。またおやつ作りは、季節感を感じさせるだけではなく、匂いをフロアに漂わせることによって利用者さんの鼻を刺激して、唾液分泌につながるという話を聞いた。

隣接する病院の栄養指導の見学をした際は、1対1の栄養指導で、1人平均15分ほどだった。患者様はいずれも糖尿病を抱えており、最初は必ず体重測定をした。初めての患者様には食品交換表を用いて食事の仕方などをお話していた。また、運動の方法などをパンフレットに沿って指導していた。相手を責めないように、「よくやっていますね」「日と日を比べてこっちの方が良い食事をしていますね」など、肯定的な話し方をしていた。

今回の実習を通して、栄養士の役割、業務内容を学ぶことが出来たと同時に、自分の勉強不足を身にしみた。これからもっと勉強や経験を積み、立派な栄養士になれるように頑張りたい。

平成 24 年度 食農環境科 2 年生派遣実習

受け入れ農家・機関一覧 (敬称略)

受け入れ農家・機関	住 所	対象作物	氏名
<b>有機農業派遣実習</b>			
有限会社旬彩ファーム (社長 寺島 英治)	〒 969-0307 福島県白河市大信中新城弥平田 40-1	有機野菜	五十嵐 健吾
檜木 康直 (さんぶ野菜ネットワーク)	〒 289-1221 千葉県山武市実門 252	有機野菜	角田 健人
片野 一郎	〒 319-0315 茨城県水戸市内原町 1467-7	有機野菜	角田 智
NPO 法人あしたを拓く有機農業塾 (代表 涌井 義郎)	〒 309-1711 茨城県笠間市随分附 1164-65	有機野菜	澤田 将志
農工房長者株式会社 (代表 林 美佐雄)	〒 939-1341 富山県砺波市高波 1050	有機水稻	嶋田 小鉄
有限会社旬彩ファーム (社長 寺島 英治)	〒 969-0307 福島県白河市大信中新城弥平田 40-1	有機野菜	竹内 健吾
魚住農園 魚住 道郎	〒 315-0114 茨城県石岡市嘉良寿里 348	有機野菜	真鍋 温
有限会社ワタミファーム 佐原農場	〒 287-0027 千葉県香取市返田 626	有機野菜	丸山 健太
<b>農業経営体派遣実習</b>			
皆藤牧場	〒 319-0102 小美玉市西郷地 757	畜産	浅野 大輔
真澄農園	〒 270-0113 流山市駒木台 209	有機野菜	石渡 裕太
茨城白土ファーム	〒 313-0042 常陸太田市磯部町 676-1	根菜類	柿島 龍紀
たまごの会	〒 315-0016 石岡市柿岡 1297-1	水稻, 養豚	カダカジャナク
奥山 利平	〒 100-1511 八丈島八丈町三根 1158-1	切り花 (ロベ他)	菅野 健司
OCファーム 暖々の里	〒 799-2408 松山市大浦 723	ミカン, ネギ	熊谷 冬彦
西岡農園	〒 783-0023 南国市廿枝 170-2	有機露地野菜	久万田 武
(株)ヴァレンシア	〒 319-0209 笠間市泉 2519	露地野菜	鈴木 朝郎
ファームかざと	〒 389-1316 上水内郡信濃町大字大井 262-2	根菜類	田口 裕基
津久井 好正	〒 967-0622 南会津郡南会津町宮床字上田 1	トマト, ナス	津久井 健太
(有)くらぶコア	〒 311-1722 行方市北浦町次木 580-1	葉物野菜	外山 明央
陽光ファーム 21/	〒 633-0228 宇陀市榛原区栗谷 108	葉物野菜	永井 幸助
(有)あずま産直ねっと	〒 379-2222 伊勢崎市田部井町 1-1453-3	野菜の多品目栽培	藤岡 輝成
(株)レインボーフューチャー	〒 308-0111 筑西市舟生 185-1	ベビーリーフ	藤岡 輝成
鯉淵学園農業栄養専門学校	〒 319-0323 水戸市鯉淵町 5965	野菜栽培全般	宮本 佳之
小林 治	〒 310-0914 水戸市小吹町 2002	トマト, キュウリ	山田 隼人
有限会社 アクト農場	〒 311-3138 東茨城県茨城町城之内 420	小松菜, 水菜	渡辺 颯太
山口 由幹	〒 099-0346 北海道紋別郡遠軽町若咲内 39	酪農	青木 健太
磯沼ミルクファーム	〒 193-0934 東京都八王子市小比企町 1625	観光牧場	青木 翠
キープ牧場理事長茅野徹郎	〒 407-0301 山梨県北杜市高根町清里 3545	観光牧場	井出 昌樹
那須高原南ヶ丘牧場	〒 325-0393 栃木県那須郡那須町湯本 579	観光牧場	田中 瑠美子
森ファーム	〒 891-7101 鹿児島県大島郡徳之島町亀津中区	繁殖哺育	藤 克弥
半田ファーム	〒 089-2105 北海道広尾郡大樹町大樹	酪農乳製品加工販売	宮内 悠輔
<b>JA 派遣実習</b>			
やさと農業協同組合	〒 315-0116 茨城県石岡市柿岡 3236-6		小河原 尚人
上伊那農業協同組合	〒 396-0014 長野県伊那市孤島 4291		白鳥 誠二
いずも農業協同組合	〒 693-0001 島根県出雲市今市町 95		竹下 茜
酒田市袖浦農業協同組合	〒 998-0101 山形県酒田市大字坂野辺新田字葉萱 112		土井 周平
あいつ農業協同組合	〒 965-0025 福島県会津若松市扇町 35-1		星 靖啓
なめがた農業協同組合	〒 311-3832 茨城県行方市麻生 3346-25		松下 佳美
福井市農業協同組合	〒 918-8026 福井県福井市湊 4-606		横山 あゆみ

## 平成 24 年度 食品栄養科・給食管理学校外実習 受け入れ機関一覧 (敬称略)

実習施設名	施設長名	住所	研修学生	実習日
社会福祉法人 敬和会 東田保育園	赤津 昌喜	福島県いわき市東田町一丁目 27 番地の 6	天野 郁美	9/3-9/7
社会福祉法人 誠友会 大倉保育園	赤津 郁江	福島県いわき市錦町中迎 2 丁目 5 番地の 1	酒井 紫帆	9/3-9/7
学校法人リリー文化学園リリーヴィ クトリア保育園	伊藤 清江	茨城県水戸市姫子 2 丁目 751-17	大貫 美咲 君山 直美	9/10-9/14, 9/24-9/28
たかば保育園	清水 進	茨城県ひたちなか市高場 1615	吉田 綾香	9/3-9/7
世田谷区立 奥沢保育園	松原 史美	東京都世田谷区奥沢 2 丁目 3-11	國奥 萌未	9/3-9/7
那珂市立 瓜連学校給食センター	和地 一行	茨城県那珂市古徳 361-2	澤畠 由佳	9/24-9/28
水戸市立 学校給食共同調理場	長谷川 仁	茨城県水戸市河和田町 796 番地	井上 周二 小原 美咲 竹田 直 丸山 琢磨	9/10-9/14
石岡市立 石岡学校給食センター	内田 栄市	茨城県石岡市正上内 16-16	足立 朋美	9/10-9/14
鉾田市立 鉾田学校給食センター	宮内 一成	茨城県鉾田市安塚 1962 番地 1	黒田 千尋	9/24-9/28
土浦市立 第一学校給食センター	矢口 幸男	茨城県土浦市下高津 4 丁目 5-5	吉田 誠	9/24-9/28
株式会社 日京クリエイト 勝田営業部 勝田第二営業所	宮川 和仁	茨城県ひたちなか市足崎 1380-25	徳田 梨乃 乳井 彩夏 三次 絵梨	9/10-9/14
社会福祉法人 白寿会 特別養護老人ホームエスコート 磯 原	鈴木 重光	茨城県北茨城市華川町車 1145-65	武井なつみ 豊田 彩	9/10-9/14
常陸東海園	伏屋 淑子	茨城県那珂郡東海村村松 2804-4	若井田 愛	9/3-9/7
社会福祉法人 特別養護老人ホームナザレ園	大部 市郎	茨城県那珂市中里 342-8	瀧 郁美	9/3-9/7
医療法人 篤会 介護老人保健施設 いちご苑	會澤 寛美	茨城県ひたちなか市笹野町 1-3-20	郡司 真依 黒田 亜美 吉澤亜須美	9/3-9/7
社会福祉法人 木犀会 ケアハウス悠	石崎 一司	茨城県笠間市鯉淵 6266-185	植村 俊彦 石川 藍香	8/20-8/24, 9/17-9/21
社会福祉法人 慈永会 特別養護老人ホーム 宍戸苑	根本 玄	茨城県笠間市橋爪 462-1	浦橋 理恵 菊田 里穂	9/3-9/7
社会福祉法人 泰仁会 特別養護老人ホーム やさと	高城 裕	茨城県石岡市小倉 442-1	島田 翔紀 松本 侑記	9/3-9/7
社会福祉法人 敬山会 障害者支援施設 たまりメリーホー ム	中山 洋一	茨城県小美玉市上玉里 50-124	田村 直弥	9/3-9/7
社会福祉法人 常陸青山会 障害者支援施設 光風荘	須賀田 毅	茨城県石岡市谷向町 13-23	海東 朋世	9/3-9/7
茨城県立中央病院	永井 秀雄	茨城県笠間市鯉淵 6528	江畑 久実 田中 友美 山家 佐予	6/7, 7/2-7/5, 7/9-7/12